

## もくじ

1. 手袋を買いに ..... 2
2. 蜘蛛の糸 .....30
3. セロ弾きのゴーシュ .....48
4. 花のき村と盗人たち .....74
5. なめとこ山の熊 ..... 108
6. 月夜とめがね ..... 128

# てぶくろ か 手袋を買いに

原作： 新美 南吉

イラスト： かつなが みつとし

編集： YellowBirdProject

暗い暗い夜が、ふろしきのような影を広げて、野原や森を包みに  
やってきましたが、雪があんまり白いので、いくら包んでも、白く  
浮かび上がってきました。親子のきつねは、ほら穴から出ました。

やがて行く手に、ぽつぽつと明かりが見え始めました。

「母ちゃん、お星さまは、あんなに低いところにもあるの？」

「あれは、お星さまじゃないのよ・・・」

そう言って、母さんぎつねの足が止まってしまいました。

町の明かりを見た時、ずっとむかし、お友達と町へ行って、  
さんざん人間に追いかけられたことを思い出したのです。

「母ちゃんなにしてるの。早く行こうよ」

子ぎつねがそう急かしましたが、母さんぎつねの足はどうしても  
進みません。そこで母さんぎつねは、子ぎつねだけを、一人で町へ  
行かせることにしました。





め まえ おんな こ いっぴき  
 なんと目の前にいるのは、女の子ではなく、一匹のきれいな  
 『チョウ』だったので。

おも だ  
 おばあさんは思い出しました。

あた むかし つき よる にんげん  
 この辺りでは昔から、月のきれいな夜は、チョウが人間に  
 ば あ いえ たず  
 化けて、明かりのついている家を訪ねてくることがあると  
 い  
 言われていたのです。

き おんな こ あし  
 おばあさんはなにも気づかないふりをして、女の子の足に  
 くすり め  
 薬を塗ってあげました。

おんな こ て と いえ うらて  
 それからおばあさんは、女の子の手を取って、家の裏手に  
 はなぞの つ  
 ある、花園に連れていきました。

